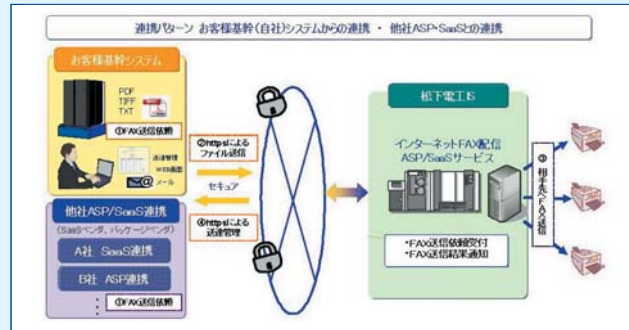


01 インターネットFAX配信ASP/SaaSサービスをスタート!

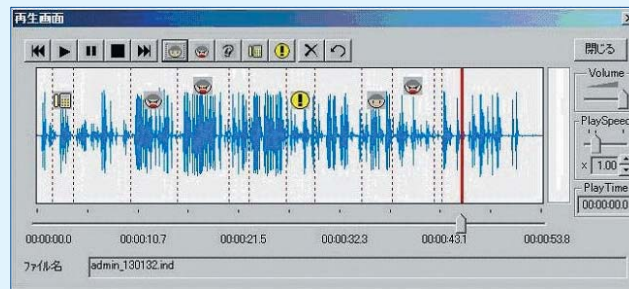
当社は7月1日、インターネットFAX配信サービスを開始しました。本サービスは大規模な初期投資が不要なASP/SaaS型。機能にも、セキュリティ度の高いhttps通信をFAX配信ASP/SaaSサービスとして初めて標準搭載したほか、A3用紙対応など他のサービスにない特徴を付加し、これらを外部機能の容易な取り込みを実現するWeb APIで提供します。内部統制のための証跡管理や業務の効率化、紙資源の節減を検討する一般企業のほか、SaaSベンダー・パッケージベンダーなど幅広い業種のニーズに対応するソリューションです。

自社システムとの自動連携を短期間で実現するには?「ASTERIA FAXアダプタ」新バージョン登場!好評の「ASTERIA FAXアダプタ」がバージョンアップし、インターネットFAX配信サービスに対応。FAX送信業務を手作業から自動化することで、誤送信による情報漏えいなどのリスク軽減も実現します。



02 (株)アニモとコールセンターサービスで協業 通話録音機能を「eSmileCall」に追加

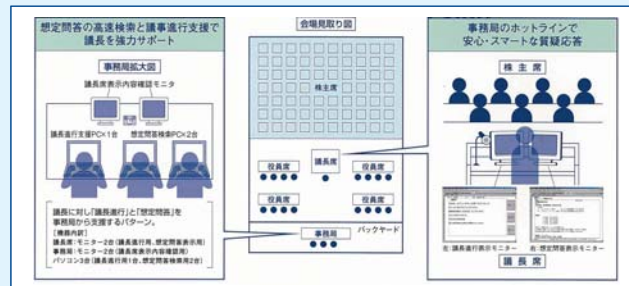
当社はこのほど、音声技術を提供する株式会社アニモとコールセンターサービスの分野で協業、当社のコールセンターサービス「eSmileCall」のオプション機能に通話録音・音声分析など多彩な機能を有するアニモの「VoiceTrackingシリーズ」を活用した「通話録音機能」を加え、6月20日より発売を開始しました。この機能には、企画の段階からお客様のニーズを取り入れ、通話開始と同時に録音を開始する仕組みや、録音中に顧客の感情などをアイコンで記録し再生時の状況分析を容易にする仕組みを搭載。対応履歴情報からの音声ファイル検索も可能であり、より現場でご活用いただきやすくなっています。



▲再生時の音声波形とアイコン記録

03 株主総会支援システム「爽快事務局」にエントリーモデル(低価格版)が新登場!

当社は株主総会支援システム「爽快事務局」のエントリーモデルを8月1日より発売します。爽快事務局は2002年6月の発売以来、議長・事務局双方の負担を軽減し、事前準備と当日の運営にゆとりを生む「想定問答作成」「議事進行支援」などの機能が好評です。エントリーモデルは、一部機能を簡易化し価格を抑えることで導入コストの負担を軽減しました。また、従来からのフルバージョンモデルも、今般のラインアップ拡充にあわせてバージョンアップ。「株主との対話」「開かれた総会」へのステップをさらに強力にサポートしていきます。



あいえす☆うらばなし 熱戦!「第10回・松下電工IS杯争奪 親睦・スポーツ大会」

当社には、毎年熱く盛り上がるイベントがあります。それは「松下電工IS杯争奪親睦スポーツ大会」、種目はソフトバレーボール。これは設立当初の1999年から行っており、新入社員から役員まで、さらには地方の事業所やパートナー企業も参加する一大行事なのです。今年は6月21日に開催、部署ごとに編成された12チーム・応援部隊も含めた総勢420名が各部の名誉をかけて熱戦を繰り広げました。家族連れでの参加者も多く、ほほえましい光景も見られるなか、名勝負につぐ名勝負、激戦の末優勝に輝いたのは「SCMソリューション事業部・グローバルサポートセンター・インダストリービジネス本部」チームでした。



編集後記

特集インタビューで頻りに耳にした「システムやネットワークは動いているのが当たり前」という言葉。そこにあるのはお客さまに対する強い責任感です。目立たなくてもコツコツと業務に取り組む縁の下の力持ち。その様子が少しでも伝われば、と思います。

発行元

松下電工インフォメーションシステムズ株式会社
 総務部 広報・IRグループ
 〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー16F
 TEL 06-6377-0100 FAX 06-6377-0833 http://www.naisis.co.jp/
 ※本紙掲載記事の無断転載・複製を禁じます。
 ※本紙に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Top INTERVIEW

「ものづくり」と「運用」は似ています。

メーカーにルーツを持つ企業ということもあり、私は時々、業務をものづくりにたとえて語ります。

メーカーのものづくりは、作業の標準化と機械・設備との対話から生まれ、育っていきます。

その過程で大切なのは、日々の活動のなかで小さな変化や傾向を敏感につかみ、それらの気づきを明示化して、チーム・組織のなかで共有化することです。これを確実にやっているうちに、品質に対する評価が確立し、お客さまの信頼感や安心感へとつながっていきます。

システムやネットワークの運用も、データの流れや機器・設備の稼働状況を五感で認識するという点は同じです。

ただし、「ものづくり」と決定的に違い、運用における「インプット」「アウトプット」は目に見えません。皆さまにとっても、システムやネットワークは「目に見えないもの」であり、いつでも「当たり前」に動いているものという感覚をお持ちではないでしょうか。

しかし、この「当たり前」の実現と維持のために、実に多くの人間が愚直に、生真面目なほどに日夜システムやネットワークに向き合い、ケアし続けています。まさに「コンピュータを意識させない情報システムの創造をめざして」という私たちの企業スローガンの体現です。

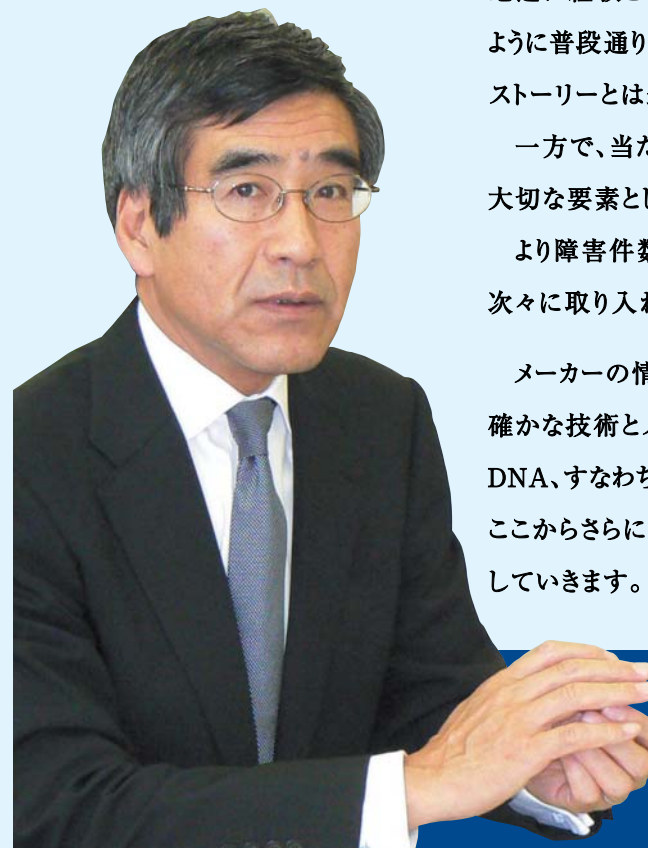
運用を担う社員たちには、ある意味で企業の生命線を預かっているという緊張感や切迫感がみなぎっています。そのなかで

地道に経験とノウハウを積み上げてきた結果は、かつて大停電の際、何事もなかったかのように普段通りの運用を継続していた、という実績が示しています。運用は、通常のサクセスストーリーとは違い、話題に上らないことがむしろ勲章ともいえる業務なのです。

一方で、当たり前のことをただ当たり前になすのではなく、「今よりも高めていく」ことも大切な要素として認識しています。

より障害件数を少なく、より効率よく、より環境にやさしく。そのために新しい技術・設備も次々に取り入れています。

メーカーの情報システム部門からスタートした当社には、50年に近い実績に裏付けられた確かな技術とノウハウ、新しいものを積極的に取り入れる進取の精神に加え、メーカーのDNA、すなわち「品質重視」と「顧客視点」を徹底する精神が受け継がれています。今後は、ここからさらに一歩進め、お客さまの立場＝「顧客起点」での運用をめざし、私たちは前進していきます。



松下電工インフォメーションシステムズ株式会社
 取締役社長 河村 雄良
 Takeyoshi Kawamura

Close Up Now

ネットワークサービス

お客様の様々なニーズに合わせたネットワークシステムの設計・構築から運用、保守までを提供するサービス。ネットワークシステムは一瞬たりとも停止することができない企業の生命線です。これまでに培ってきたノウハウを活かし、性能・信頼性だけではなく運用性・拡張性を考慮したご提案をしています。また、ウイルスや脆弱性対策など、セキュリティへの対応も万全です。



【STAFF VOICE】

ネットワークソリューション事業部/長谷川晃広

「ネットワークはつながって当たり前の世界なので、安定したサービスを提供するようにしています。常に最新の技術を取り入れ、よりよい環境をめざしています」

ネットワークソリューション事業部/藤井和彦

「ITシステムがお客様の日常業務の一部となった今、ネットワークはライフラインともいべき重要な存在。いつでも迅速な対応ができるように心がけています」



(左)長谷川 (右)藤井

インフラ提供サービス

ハードウェア・ソフトウェアなど様々なリソースをお客さまに提供するサービス。ホスティングサービスとも呼ばれています。松下電工ISでは、新しい技術を積極的に導入し、ストレージ・ディスク装置の統合やサーバ統合など運用の効率化を推し進めるとともに、お客さまのご希望にあわせたサイズ・スペックのインフラを柔軟にご提案しています。



【STAFF VOICE】

サーバソリューション事業部/辻本悠佳

「お客さまのご要望と私たちの提案するサービスのイメージが一致するとうれしいです。今後もお客さまの負担軽減につながる効率のよいインフラを提供していきたいですね」



サーバソリューション事業部/川井康成

「お客さまの大切なデータをお預かりしての移行作業は緊張の連続。事前確認にはかなりの時間を要しますが、二重、三重のチェック体制で確実な作業を行っています」



ハウジングサービス

お客さまからシステムやサーバをお預かりし運用するハウジングサービスは、保守・メンテナンスの負担を軽減するソリューションのひとつ。松下電工ISはマルチベンダ対応で、導入～設置～運用に至るまでお客さまのニーズにあわせた対応を行っています。また、グリーンITの観点から、消費電力節減のためのご提案も行っています。



【STAFF VOICE】

サーバソリューション事業部/佐々木康裕

「ただ預かるのではなく付加価値を提案した結果、お客さまの事業拡大に貢献できると本当にうれしい。今後も多様なニーズに対応するメニューを充実させていきたいです」

サーバソリューション事業部/南野正樹

「普段お客さまから意識されない部分なのですが、そのくらい問題なく動いていることが一番重要で、その積み上げが大切だと強く意識しています」



(左)南野 (右)佐々木

松下電工ISの運用ソリューション

システム管理・運用は、長年にわたる経験と豊富な実績を有する松下電工ISの得意分野。確かなノウハウに基づくソリューションのご提案で、お客さまの経営基盤を支えています。

サポートセンター

お客さまから信頼されご安心いただくことが何よりも大切な、会社の「顔」ともいえるサポートセンター。お問い合わせの電話は、なんと月間1万コール。業界でも数少ない24時間・365日のサポート体制であらゆるシステムに精通したスタッフが、お客さまからの様々なニーズにお応えしています。



サポートセンター内

【STAFF VOICE】

サポートセンター マネージャー/梶川武彦

「お客さまの業務の進捗に大きな影響を与える仕事ですから、適切な応対をするためには、私たちサポートセンターの担当者もお客さまの業務内容を理解していることが重要だと考えています。「何かあったらまずはサポートセンターに」と言っていたら、今後もお客さまとの信頼関係を築いていきたいですね」



オペレーション

松下電工ISが運用するシステム(ジョブ)の数は約8万4千。この膨大な数のジョブを24時間・365日体制で管理しているのがシステム監視やバックアップなどを行うオペレータと運用スケジュールを担当するスケジューラ。長年培った経験とノウハウは障害の未然防止や緊急時の迅速・正確な対応に活かされています。



サーバのテープ交換

【STAFF VOICE】

オペレーター/大平雅祥

「安定運用に対する緊張感と責任感は相当なものです。チェックリストを用いて複数人でサーバのテープ交換を行うなど正確で効率的な作業を心がけています」



スケジューラー/中村重昭

「システム停止など緊急時には、並行して稼働している複数のシステムの優先順位を瞬時に判断しスケジュールを組み替えています。経験も重要な業務です」



業界トップクラスの確実性と先進性で飛躍を図る



執行役員(全社運用担当)
IDCビジネス本部長
田中 啓介

— 松下電工ISの運用サービスの強みとは。

運用の確実性に加え、お客さまのニーズに的確に対応するため、時代の一步先を読んだ新しい技術を積極的に導入する点です。この能力は業界トップクラスと自負しています。

— 障害件数減少に向けた取り組みは。

障害対応のレベル向上に加え、運用サポートツールの効率的活用によって、障害件数は年々減少しています。より一層の運用品質向上、グリーンIT推進の観点から、オープン系システムの標準化をさらに進めていきたいと考えています。

— 今後の展開は。

「攻め」と「守り」をバランスよく推進します。「攻め」のポイントは、新データセンターを活用した外販拡大と、ブレードサーバ・仮想化など新技術のインフラ商材としての確立です。松下電工ISの強みである技術力を活かしていきたいですね。「守り」とは、たゆまざる品質向上への努力です。たとえば私たちは定期的に、社内外の運用関係者全員が参加する勉強会を行い、実際に発生したトラブル事例の反省などを共有し、次に活かしています。こうした地道な努力が確固たる基盤を築くのです。お客さまに安心して運用をお任せいただけるよう、今後も様々な取り組みを推し進めていきます。

外販アウトソーシングを本格展開 環境配慮・都市型データセンターを新設!

2009年1月、外販アウトソーシング事業の旗艦的拠点として、大阪市内中心部に環境配慮・都市型データセンターを新設します。新データセンターは大阪市内中心部の交通至便な場所に立地し、免震構造などデータセンターに求められる最新の設備を擁するビルに開設。50年近くにわたり蓄積したノウハウを結集し、排熱効率を最大限高めた内部設計、センサ技術を活用した空調・照明制御、省エネ型サーバの積極導入などを行い、環境保全に最大限配慮するエコ・データセンターです。IT課題の解決、CSRの推進や企業価値の向上に、ぜひ新データセンターの活用をご検討ください。



お問い合わせ・ご相談は:ソリューション営業本部
東日本営業部 TEL:03-3563-6660 西日本営業部 TEL:06-6377-0050